【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和6年9月18日(2024.9.18)

【国際公開番号】WO2023/119643
【出願番号】特願2023-569005(P2023-569005)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｖ 40/16(2022.01)
Ｇ０６Ｔ 7/00(2017.01)
Ａ６１Ｂ 5/1171(2016.01)
Ｇ０６Ｆ 21/32(2013.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｖ 40/16
Ｇ０６Ｔ 7/00 ５１０Ｆ
Ａ６１Ｂ 5/11712００
Ｇ０６Ｆ 21/32

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月14日(2024.6.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
通常撮影と、前記通常撮影より鮮明度が低い状態で撮影するぼかし撮影とを切替可能な撮影手段と、
前記ぼかし撮影で取得したぼかし画像に基づいて、認証対象を検出する対象検出手段と、
前記認証対象が検出された場合に、前記ぼかし撮影から前記通常撮影への切り替えを行う切替手段と、
前記通常撮影で取得した通常画像に基づいて、前記認証対象の認証処理を実行する認証手段と、
を備える認証システム。
【請求項２】
前記対象検出手段は、前記ぼかし画像において顔が検出されており、且つ、前記顔の大きさが所定閾値より大きい場合に、前記顔を前記認証対象の顔として検出する、
請求項１に記載の認証システム。
【請求項３】
前記対象検出手段は、前記ぼかし画像において動く物体が検出されており、且つ、前記動く物体が前記撮影手段側に近づいている場合に、前記動く物体を前記認証対象として検出する、
請求項１に記載の認証システム。
【請求項４】
前記切替手段は、前記認証対象の顔が存在する顔領域を特定し、前記顔領域のみを前記ぼかし撮影から前記通常撮影に切り替える、
請求項１から３のいずれか一項に記載の認証システム。
【請求項５】
前記切替手段は、前記認証対象が複数検出されている場合に、前記撮影手段に最も近い

前記認証対象の前記顔領域のみを前記ぼかし撮影から前記通常撮影に切り替える、
請求項４に記載の認証システム。
【請求項６】
前記切替手段は、前記認証対象の認証処理が終了した場合に、前記通常撮影を前記ぼかし撮影に切り替える、
請求項１から５のいずれか一項に記載の認証システム。
【請求項７】
前記切替手段は、前記ぼかし撮影を前記通常撮影に切り替える際に、前記認証対象と前記撮影手段との距離の近さに応じて画像の鮮明度を徐々に高くする、
請求項１から６のいずれか一項に記載の認証システム。
【請求項８】
前記認証対象の認証処理が成功した場合に前記通常画像を記憶する一方で、前記認証対象の認証処理が失敗した場合に前記通常画像を記憶しない画像記憶手段を更に備える、
請求項１から７のいずれか一項に記載の認証システム。
【請求項９】
通常撮影と、前記通常撮影より鮮明度が低い状態で撮影するぼかし撮影とを切替可能な撮影手段を用いる認証方法であって、
前記ぼかし撮影で取得したぼかし画像に基づいて、認証対象を検出し、
前記認証対象が検出された場合に、前記ぼかし撮影から前記通常撮影への切り替えを行い、
前記通常撮影で取得した通常画像に基づいて、前記認証対象の認証処理を実行する、
認証方法。
【請求項１０】
通常撮影と、前記通常撮影より鮮明度が低い状態で撮影するぼかし撮影とを切替可能な撮影手段を用いる認証方法であって、
前記ぼかし撮影で取得したぼかし画像に基づいて、認証対象を検出し、
前記認証対象が検出された場合に、前記ぼかし撮影から前記通常撮影への切り替えを行い、
前記通常撮影で取得した通常画像に基づいて、前記認証対象の認証処理を実行する、
認証方法を少なくとも１つのコンピュータに実行させるコンピュータプログラム。